共産黨の黑幕

猶太民族の大隱謀を曝露す

マッソン秘密結社の正體と我國の現狀

目次

第一　序論

我が國民思想の惡化については、種々の原因があるけれどもその主なるものは猶太人の陰謀より來るものである。

茲に於て吾人は猶太人が何故にかゝる世界的大陰謀を企圖するに至りしか、その今日に至る歴史、その手段方法並にマッソン秘密結社員集會の席上に於てその首領がなしたる演說の原稿中最も重要なる一部を摘錄して以て大和民族たる我等は如何なる方法を樹てゝ之等に對應すべき哉の大決心をなすべき參考資料に供せんとするのである。

先づ何故に猶太民族が斯くの如き世界的大革命の陰謀を企圖するに至りしかに就て述べてみやう。

猶太の祖國は往昔亞細亞と歐羅巴と阿弗利加の中間に位し地中海に面した所に一國家を成してゐたもので、面積は我が九州位のものであつたが、今より凡そ二千年前にバビロニア國王ネブカドネザルの爲めに國家を亡ぼされ猶太人は四散して亡國の悲哀を感じつゝ流浪

の民となつたのである。此の流浪の民となつた猶太人等は如何にして復讎すべきか又如何にして大猶太國を再建すべきかといふ事について考えた結果『金の力』即ち黄金の威力を以て凡ての目的を達成するより他に方法がないと云ふ事に歸着したのである。そこで何れの地に移りしものも金を貯へるに汲々として金の爲めには如何なる手段も撰ばず、又如何なる迫害にも屁古垂れなかつたのである。だから何れの國に於ても彼等は嫌はれて仕舞には逐い出された。時には殺されることもあつた。彼のコロンバスの亞米利加發見の如きは、西班牙に移住した猶太人が同國で壓制を受けた爲め他に住む可き地を搜さんとして有志を募つて出掛けた一行である。斯の如く何れの國に於ても壓制を受け虐待されたため彼等は深く此をふくみ他日目的を達成した曉は他の民族に對し復讎しやうといふ觀念が愈々益々深刻になつたのである。

爾來、彼等は營々として黄金蒐集に努力したその結果現在では世界の富の七割は彼等の掌中に占められて居る。世界屈指の大富豪は皆猶太人である。米のモルガン、シツフ、ロツクフエラー、ゴツケンハイム、カーネギー、セルグマン、アルトマン、英のロスチヤイ

ルド、モーリスヒルシユ、佛のカモンド、フオールド、獨のスチンネス等皆然り、單に富豪だけではない。世界の醫師と辯護士の大部分は猶太人である。例へば匈牙利では辯護士の九十五パーセント、醫師の九十パーセントは猶太人である。獨逸でも醫師は獨逸人一人に對して猶太人八人の割合であり紐育では辯護士の六割は猶太人である。又世界の大政治家の中にも澤山ゐる。米國第二世大統領アダムスの如きは純猶太人である。其の他各國の政治家の氏名の如きは一々枚擧に遑がない。

そして彼等は凡て猶太敎なるものを信仰して、いるその經文の中に次の如きことが書いてある。

一、猶太人は神の撰民である。他の民族は魂のないゴイ(豚)である。

一、世男は猶太人に屬すべきものなり。此を占領するため、猶太人は如何なる假面を蒙るも不可なし。

一、諸國の王の冠は悉く猶太人の前に落さるる。

一、諸國の金庫は凡て猶太人の足許に集めらる。

彼等はこの經文を金科玉條として固く信じてゐる。そして世界が此の經文の敎へ通りになることを信じてそれに向つて驀進してゐるのである。

即ち王の冠が落さるるといふ信念から先づ帝制國家の破壞に着手した最初に手を着けたのが露西亞であつた。隨分長年月を費したが遂に彼等の爲めに露帝國は破壞された。そしてロマノフ皇帝は弑せられ、茲に彼等の目的は立派に達成せられたのである。彼のレーニンの如きは全く彼等の傀儡となつて働いたのに過ぎない。次に獨逸や墺太利が歐洲大戰で敗れて共に帝制を破壞せられたのは種々原因はあるだろうけれども、その最重大原因は猶太人が内部から崩壞を策した努力が奏効したことにある。即ち例のヨッフエーが獨逸に滯留して大いに策動したことなどは見遁すことの出來ない一事である。

次に彼等は英國と伊太利に手を着けたが英國では彼等の陰謀を看破せられてその毒手を恣まゝに揮ふことが出來ず、未だにその目的を達することを得ず、しきりに苦慮してゐる又伊太利に於ては殆ど目的達成の域迄進んだが快傑ムッソリーニのために九仭の功を一

實に缺かれた觀がある。

一方東洋に延ばした彼等の魔手は隣邦支那を思ふ存分攪亂した。そして我日本に及んで來たのである。彼等は日本を征服するために次の六ヶ條に最も力瘤をいれてゐる。

一、日本國民を欺瞞し自由、平等を唱和せしめ秩序ある統一を破壞すること

二、階級鬪爭を誘起せしむるため勞働運動を皷吹すること

三、淫蕩文學を皷吹し國家發展の基礎たる節操觀念を失はしめ內部めより崩壞に導くこと

四、皇帝の保護及愛國心の涵養に任ずる軍隊を廢止することに努力すること

五、當路の大官と權威ある言論機關を買收すること

六、政黨の軋轢その他各種の內訌を助長せしむるため不平分子を

懷柔して革命の動機を醞釀せしむること

右の方法によりその目的を達するため莫大な黄金を送りダンスや舞踏を流行せしめて淫蕩氣分を旺にし、其の他百方手段を盡してゐる。

兎に角彼等は經文の信念と復讐の觀念から出發してゐるので、その熱心は驚くべくその熱烈と執拗とは想像以上である。彼の歐洲大戰四ケ年間の犧牲者は九百萬人であるが猶太人がロシア革命のために慘殺した生靈は實に二千萬人の多きに及んでゐる。更に革命より來りし饑餓疫病の爲めに一千三百萬人を失ふてゐる。この一例を考えても彼等が目的遂行の爲めには如何に手段と方法とを撰ばず慘虐を極むる毒手を揮ふてゐるかを知るに足る。

第二　マッソン秘密結社

今より二千年前バビロニア國王ネブカドネザルの爲めに國家を亡ぼされてから世界の漂泊民族となつて到る處で壓制と迫害と虐待とを蒙りつゝも根強く執念深く此等に對抗しつゝ遂に彼の有名なマッソン秘密結社を組織して世界各所に散在して刻苦、勉勵し財を蓄へ

富を作り、相互の秘密の連絡を固く守り凡ゆる手段を講じて世界的大復讐を企てこの陰謀遂行の爲めには全力を擧げて努力してゐるのである。

彼等の目的の眼目は前にも述べた如く世界に於ける國家組織を破壞し盡くして共和思想を注入しその混亂に陥るに乘じて黄金の力を以て世界を征服し之を支配して以て猶太民族の天下たらしめんとするのにある。

彼等にはマッソン秘密結社の決議書なるものがある。この決議書は秘中の極秘で萬一此を他に漏した者は秘密の裡に仲間の者から殺されて仕舞ふと云ふことである。

斯る極秘のものが朧氣ながらにも如何にして世界に知れたかと云ふに去る大正八年頃米國に於けるマッソン秘密結社の首領が情婦に溺れて妻を顧みなかつたためその妻が激怒の結果右の秘密書類を盜んで佛國に逃げ、當時佛國に滯在していた露國の大地主に賣り、夫れを露國で出版したが、此の事實を知つたマッソン社では莫大な金で之を買收して非猶太人の手に渡さない樣につとめたものである。所が多少回收のつかなかつたのがあつたため世界に知られたのである。

今回吾人は計らずも或る事情の下にその一部を手に入れることが出來たので之を天下の識者、憂國の同志に發表して共に研究し共に對策を講ずる資料とする次第である。

第三　米國に於てマッソン秘密結社員集會の席上その首領のなせる演說の梗概

その一　自由　平等　友愛の高唱

吾人が自由、平等、四海兄弟なる標語を民間に放つたのは既に古代のことである。夫れ以來此等の語は幾度となく鸚鵡返へしに復習されている。其鸚鵡は此好餌にとび集り之を啣へて去ると同時に、世界の幸福を破壞し眞正なる個人の自由を破壞した。所謂知識階級の猪口才な人は、此等の語の抽象的であることを知らぬ。其意味の矛盾と調和とを知らぬ。又自然界には平等なく自由の有り得べからざることや、自然界に於ける智識才能の不平等が自然の大法則であることを知らぬ。

自由、平等、同仁といふ言葉は吾人の牒者が之を世界のすみ〴〵にまで宣傳した。幾千萬の民衆は吾人の陣營に投じ來り此旗を擔き廻つている。然るに實際は此標語が到る所に平和と安寧を破壞し、國家の基礎を顚覆して歐米人の幸福を侵害する獅子身中の虫である、是れが吾人の勝利を助長したといふことは諸君は後日首肯せらるゝであらう。

權利を愛するものを刺戟して權力を濫用せしむるためには吾人は獨立解放といふ我儘な主張を鼓吹して凡ゆる勢力を對立せしめた、自由といふ抽象的な標語は何者を民衆に與へたか、政府といふものは國家の持主たる人民の手代に過ぎないから、破れた靴の如く之を委棄交代せしめることが出來るものだといふ觀念を與へた、人民の代表者……政府の交代し得るといふことが、即ち吾人に其代表者を左右するの機會を與ふるものである。

若し人間に自由を與へて或る年月之に自治を許すならば放縱に流れるに極つてゐる。其れから內亂が起る。團體的戰爭も起る。次第に國家は紛乱して國家は無くなる。自由主義によつていろ〳〵の權利が主張せられ要求せられる。從つて國家と法律との力が段々に減殺せられる。吾人はかゝる國家に新權利を獲得し之を支配する。斯くして彼等は自由と我

儘とによりて實權を我等に明け渡すことになり、我等は之を受け取つて彼等を壓制してやるのだ、吾人は各國民に對しては極力自由主義を皷吹するけれども、吾黨の內では絕對的無言服從である。

吾人の天下となつた時、國民學校で敎へねばならぬことは唯一の學問＝學問中の學問＝其は何か、人生の組織と分業とを有する社會組織である。換言すれば、人間を階級に分たねばならぬといふことである。平等は有り得べからざる者であることを各自が記憶せねばならぬ。何となれば各自の行動の價値が異つているからである。

眞の自由は放縱な我儘をする權利ではなく、又人間の力と眞價とは良心の自由平等などの如き破壞を主張する權利にあるのではない。

又個人の自由とは烏合の集會場で駄辯を弄し自他を混乱させる權利ではない。眞の自由は公共生活の諸規則を守る人の不可侵權であり。又人の眞價は自分の權利と同時に無權利を自覺するにあるもので自己といふ問題にのみ沒頭して空想を描いてはならぬ。

その二　無神論　物質文明と金力崇拜

自由が若し敬神を根據としての四海同胞主義であるときは、國民の幸福を阻碍することなく國家を組織して行くことが出來る。斯る宗敎と信仰とをもつてゐるときは人民は地上に於ける神の攝理に從い敎會に統御せられ、甘んじて温柔に精神の父なる牧師の命に從ふものである。夫れ故に吾人は宗敎の根帶を覆へし世界人類のうちから神の觀念をぬき取り、之に代ふるに打算と數理的要求とを以てせねばならぬ。

斯くすれば社會を指導するものは唯打算、即ち金力のみになり、金力が與ふる物質的快樂のために金力のみを崇拜することになる。そうなると各國の下層民は至善に勤むるためでもなく、又富のためでもなく唯上流社會の傲奢に對する憎惡から吾人に服從して、吾人の競爭者たる上流社會の權力を奪はんとすることになるのだ。

吾人は文明進步といふ一語を以て各國民を惑はせて大に成功したではないか、各國民の内には物質文明の外進步といふものなしと思ひ、進步なる語が却つて眞理から彼等を遠ざ

ける好餌たることを知らない。神様は斯くして眞理の保護者たる吾人の外、誰にも眞理が見えない様に巧みに蔽ひかくしてしまふのである。

吾人の世界統御策は歴史的の經驗や時々刻々の注意ぶかい觀察からくるものである歐米一般の人々は公平なる史的實驗を基礎としないで、唯理論的迷路を辿つて其結果に對して少しも批判的態度をとらない。是れ彼等の恐るゝに足らざる所以である、彼等は當分觀樂に耽るがよい。新觀樂を空想するがよい、過去の追想に陶醉するがよい。又吾人が與へたる科學の命令を金科玉條として遵奉するがよい。吾人は出版物の力を借りて絶えず科學に對する絶對服從を鼓吹せねばならぬ。彼等の智識階級は其智識に誇るがよい。吾人の牒者が組み立てた學問をば彼等に應用させるのだ。

分り切つてゐる虚僞な學說を吹聽して、吾人は各國の靑年を惑乱させた。尚吾人は最も嶄新に最も進步的に見へる學說の製造に人心を向はしめねばならぬ。昔は宗教が國家を統べた時代もあつたが現今は金力が支配者となつてゐる、吾人の動力は金力である。

その三　神秘的蛇論

今日諸君に報告したいと思ふのは、吾人の目的が早や完成に近づいたことである。剰す所は僅少だ、今や神秘的の蛇輪を完成せんとしてゐる。此輪が結ひ付いたならば、歐州諸國は最も強靭なタガで締めつけられたやうになるのだ。

世界列國の同盟は一時は我等に對して對抗し得るかも知れぬが、是も敢えて恐るゝに足らぬ。何となれば吾人は二千年もかゝつて各國民の間に拔くことの出來ない分離の根をはらせてある。世人が事の眞相を知らば事の未だならざる以前に、兵力に訴へて吾人を攻撃するだらうと云ふかも知れぬが、其れにも準備がしてある。如何なる勇士をも戰慄させる恐ろしい計畫がある。其は地下鐵道だ、地下鐵道は遠からず各國の首都に通ずる。國家の政治機關と書類とは一時に爆發されてしまう。

吾人の牒者は上流、下流、ノンキナ行政官階級、著述家、出版業者、本屋番頭、職工、馬車屋、家僕、其他のものである。吾人は世界各國に調査、感化の機關たるA座を設ける、

各座には革命主義や自由主義の分子を悉く糾合する。座員は各階級からなる、彼等は政治的陰謀を起すものである。吾人の手中には現代の一大威力たる金力がある二日間でもつて吾人は如何なる大金でも秘密金庫から取り出すことが出來る。

各國の重なる言論機關は既に吾人の掌中にある吾人は之を丈夫な手綱で操縱する。

今や吾人の權力外に二三の權力が殘つてゐるばかりだ他は悉く掃除してしまつた。現に吾人の道路には何の障害もない。吾人の超越政府は正に超帝權の資格を具諭してゐる。目下吾人は世の立法家といつて差支ない。裁判と警察權とを行つて活殺自在である。

その四　獨裁君主制

吾人は自由主義たる毒を吾人の敵なる諸國に注射した。諸國は不治の病にかゝつて今や煩悶してゐる最中だ、リベラリズムから憲法政治が生れて、此政体も運用を巧みにせないと唯紛擾、爭論する無益の學校となつてしまふ。議會の辯論は刊行物以上に王者の行動と勢力とを殺ぐものだ。

濱の眞砂の樣な饒舌家は國家と政府とを舌戰場と化してしまつた、大膽な新聞記者、無遠慮な政論客は毎日行政官を攻擊する五里霧中な群集のため結局萬事は顚倒するだらう。吾人は民衆のため名のみで實のない權利を憲法へ入れた。吾人が食卓の上から投げ與へるパンの切れと、吾人の命令との外に下層の人民は憲法政治から何者を得ることが出來たか。

民衆と云ふものは詰らない意地や迷信や、或は子供に等しい理屈に囚はれて動もすれば黨爭を惹き起し、分りきつたことでもなか〱一致しないものである。彼等は政治上の秘密を知らないから、何でも多數決といつた樣な愚にもつかないことで決議をして、遂には無政府の種子を蒔くものである。

歐州の諸國にも漸く共和時代が現出して政治上の倚形見たる大統領が出來た。大統領は吾人の手足たる民衆に選擧させるから、結局彼も吾人の命を奉じて働かねばならぬ樣になる。

吾人は大統領に新憲法を制定させ吾人の掌中に立法能力を收めてしまう。共和制は貧乏

人にとつては痛々しい皮肉ではないか、何となれば日々の衣食に追はれるから、自分の權利を利用することが出來ないで雇主或は仲間の罷工に左右せられて、確實な常收入を失ふことになるからだ。

唯獨裁君主のみが諸般の計畫を統一して國家機關の上に按配し、秩序をたてゝ處理することができるものである。故に國家の利益になる政治は責任ある獨裁主權者の掌裡に歸しなければならない。吾人の主君は神意によりて定められたるものであつて、理智でなく寧ろ性情によつて統治する。

將來政權が吾人の手に歸する時、一切の憲法を除去する階段として諸制度を一つ〳〵取り除いて置くのである。そして憲法政治の變更を提議する。最も吾人の獨裁政治は立憲制破壞以前に承認されるかも知れぬ。吾人の煽動に乘る國民は乾度政權爭奪の鬪爭を惹起して自滅する……吾人は彼等を自由に頤使することができる。

吾人にとつて、最も危險なものは獨斷專行である。各國で敵意を抱いてゐる。此敵意は經濟上の恐慌によつて一層高められる。吾人は自巳の掌中にある金力と陰謀とによつて經濟

的恐慌を起してやることに準備してある。即ち時を期して一時に勞働者が住むに家なき有樣を作らしめる、さうすると彼等は日頃から憎んでゐる富豪の血を吸はうと思つて馳せ集り、富豪の財産を掠奪することになるのだ。

吾人は各國の工業を破壞する方法を豫め設けてゐる。吾人が鼓吹した所の贅澤的要求をます／＼擴げる。又ます／＼勞銀を騰貴せしめる、此勞銀騰貴は勞働者に取つては何の利益も益へないものだ、何となれば農業畜産の衰微を名として日常品の價格を引き上げるからである。吾人の謀計は中途で以て悟られない樣に、表面上勞働階級を助け、吾黨の經濟學者の主張してゐる經濟原則を擁護するかの如く裝うて吾人の本心を蔽ひかくさねばならぬ、而して今日食料の缺乏は各國民をして何でもかでも吾人の奴隷たることを甘んせねばならなくする。

富といふものを大仕掛けに獨占するのは吾人の目的で人民をばドーしても無氣力に教育させねばならぬ。秘密結社に喜んで加入するものは大抵、饒舌家、射倖者即ち概ね輕佻浮薄の人間である、彼等を利用して吾人の計畫の機關を運轉するのだ。

吾人は各國に於て政府と國民との關係を紛糾せしめ、內訌、怨恨、爭鬪、困苦、飢餓、病毒傳播、生活難等の武器を以て絶えず民衆を攻め拔かねばならぬ、さうなると彼等は如何しても、吾人の金力と獨裁權に服從して來る他に道がなくなるのである。

吾人の政治は原始的で爲政者は親權を以て人民に臨み後見するのである。國民は爲政者を見ること父の如くであらう。さうなると民は平和安寧の生活を送るには、爲政者の親切と指導とに便るの外はないと觀念する、斯くすれば殆んと神を敬するに近い尊敬を以て吾が爲政者を仰ぐことになる。

その五　勞働問題ご食糧金融の逼迫

今日一般の人民は自分の暗愚と吾人が故意に助長する迷論に動かされ、自分より上の階級に對してゐる、列席の經濟家諸君希くは此仕掛けの意味を實行せられよ、吾人は地租を高めて貴族を破產せしむると同時に商工業殊に投機買占めを保護奬勵しなければならぬ、工業によりて吾人は土地から人と資本とを奪ひ、投機の世界を經て滿天下の黃金を悉く

吾人の手中に收める、各國民は下層に沈淪して吾人の足下に拜伏するより外に方法がなくなつてしまふ、世界統一の曉には吾人は工業家の私有資本を覆へすために家族的工業を復活させる。是は極めて必要なことだ、何となれば工業はヨシ無意識にせよ、群集の心理を政府と反對に左右することができるから、人民即ち家族工業家は無仕事といふことを知らぬ、是れが即ち主權に服從する所以である。

吾人の天下になつた時は自衛の原則に基づき民衆を抑ゆるに課税を以てする、但し吾人は父である保護者であることを忘れない。而して税金の償却を税金累課から始めるのが最良方法である、斯くすれば税金は何等の苦痛なしに、又破產の恐れなしに財產率に應ずる事になる。

貧乏人に課税することは革命の種子であつて國家にとつては損失である、如何となれば小物を追ふて大物を逸するから、之に反して資本家課税は吾人は各國民に對抗するために、個人の手に集中して置いた富を、個人的に增加させないことになる。

財產率に從つて增加する税は目下の人頭税などよりは遙かに多くの收入を與へるもので

ものだ。吾人の王者の頼みとする力は均衡と平和の保証とである。之がためには資本家が國家機關の安全運轉のため自分の收入の一部を割かねばならぬ。

國費は苦痛を感ぜないものから出さすべきである。斯くすれば富者に對する貧者の憎惡がなくなり、富者を以て國家財政の補助者と見做し平和安寧の整頓者と見るやうになる。

金貨本位は國家のため不幸の一因たることは諸國の了解せる所である。如何となれば吾人はできる限り金を融通界から取り上げたから、金貨は紙幣の消費を滿たすに足らないのだ。財産破綻には金融界から貨幣を取り上げて仕舞ふのだ、是は吾人が各國に仕組んだものだが、國家から金を引上げたら巨額な資本が澁滯した。堂々たる國家が吾人に國債を仰がなければならない破目になつた。此等の國債は利子の支拂で十分國家を苦しめ、殘る元金で其國家が自ら奴隷になる。そして企業家の手に經營せられる工業は國民の膏血と國家の富とを吸ひ盡すのだ。

その六　世界統一

斯の如く種々の方法を以て吾人は各國を困憊疲勞せしめ、國家の勢力を手中に收めて超越政府を造る、此大政府は各國民を征服しなければ止まない樣な大機關を具へて、釘拔の如く八方へ擴がる、各國の主權が全く動搖し崩壞した時に、吾人の確立する主權は何ものも之に打ち勝つことはできないのだ、何となれば吾人の主權は變化窮りなく、如何なる奸智も之を覆へすことのできない樣になるまで何人にも分らないからである。

我等の王君の神聖なる頭に歐羅巴諸國から捧呈する玉冠を戴く時には、彼は世界のパトリアークになつたものである。

吾人の王は世界の眞教主となり、萬國教會のパトリアークとなるであらう。

吾人が全世界の權力を掌握した時には、吾人の一神教の外に宗教の存在を許さない。

第四　結論

前項マッソン首領の演說を讀む時、吾人は彼等の周到なる用意、何ものをも逃さゞる準備、確乎たる大勇猛心、全世界の人類を眩惑するその手段方法等に對して轉た戰慄を禁じ得ないのである。

即ち彼等は大自然の法則に於て到底有り得ないことを肯定しながら自由、平等、友愛等の美しき標語を看板とし之を鼓吹して、階級鬪爭を挑發せしめ、勞働者には資本家を破壞せしめ、貧乏人には貴族富家を呪はしめ而して兩者共に傷つき共に疲弊して遂には生活難に陷り復た立つ能はざる迄に到らしめ以て世界を攪亂の巷と化せしめてその虛に乘じて黃金の魔藥を以て凡ての民族を猶太民族の膝下に屈服せしめ、一網打盡的に世界統一の大目的を達成し二千年來の迫害に復讐せんとするのが彼等の當初よりの目的であり計畫である、即ち彼等はマッソン大帝國の出現を理想として步一步と進みつゝあるのである。

然るに彼マッソン首領も「先見の明ある王者と服從心の强い國民とが合する時は吾人にとつて最も恐ろしい敵である」と曰ひ、又「國家の利益になる政治は責任ある獨裁主權者の掌中に歸しなければならぬ」と云ふてゐる。故に彼等の最も恐らしき敵となるものは、

君民同治の政体、神意によつて定められたる國体であつて、理屈や何故にを超越した精神的極致によつて建設されたる國家である。即ち我が大日本帝國のそれである。

今日猶太人が全力を傾注して破壞に導くべく努力しつゝあるのは西にあつては英國、東にあつては我が日本である。

今や我が大和民族は興廢の岐路に立つてゐる、爆彈を抱いて噴火山上に立つてゐるのである、徒らに舞踏氣分に耽溺してゐる場合でない、クダラヌ理屈をいつてゐる時ではない、宜しく心眼を開いて建國の大精神と大理想とを信解し我國体が大自然の法則にピツタリ合致してゐることを直視して天壤無窮を詔し給ひし天祖の神意を奉戴して、君民一致、上下心を一にして世界的大國難に當らねばならぬことを自覺せねばならぬ秋である。

然るに翻つて現在我が國民の狀態を觀るに徒らに物質文明に眩惑して不自然な自由や平等や解放を叫び「リベラリズム」や「デモクラシー」や「サンテイカリズム」等に中毒して放縱に流れ淫蕩に耽つてゐるではないか。

先般一網打盡的に檢擧された所謂日本共産黨の一味の如きは即ち彼等猶太人の傀儡であ

つて、實に大和民族の仇敵であり世界平和の攪亂者である。殊に吾人をして寒心に堪えざらしめたことは、思想が最も健實であるべき筈の東京帝國大學から非國民の最も多くを出したといふ事實である。又その帝大に教鞭をとつてゐた某々教授の如きは實に言語同斷である。先年の大震火災で東京帝大の圖書館が全部灰燼になつた時、米國石油王、ロックフエラーは帝大總長に對し、無線電信にて何等條件なしに金四百萬圓を圖書館復興費として寄附する旨申込んだ。當時の總長古在博士は直ちに教授會を開いて之を協議した。その時硬骨教授眞鍋嘉一郎氏は「最高學府の圖書館を米國人の金によりて建設するのは何故か、さなきたに歐米崇拜の今日更に大學生をして彼等殊に猶太人の金力に叩頭せしむるとは何事だ」と云ふ主張をして只一人反對したが、遂に寄附金は受取ることになつたのである。ロックフエラーが寄附申込の眞意が奈邊にあるかは判明しないとしても、當時、已に帝大には新人會と稱する一派があつた、而して今日の檢擧と彼此對照する時は思半ばに過ぐるものがある。加之殘黨の所謂赤い學生達が去る四月二十七日同校内講堂に於て『學友會解散眞相發表演說會』なるものを開催して學校當局に對し不穩極まる宣言や決議事項を突き付

けて神聖なるべき學園を汚濁し一時的にもせよ騷亂の巷に化したと云ふことは見逭すべからざる一大不祥事であつて國家將來の爲め憂慮に堪えざる次第である。
今參考のため學生が學校當局に提出した要求事項を摘錄する。

要求事項

一、山中湖畔の寮に於ける不正事件關係者の嚴罰要求
二、學友會理事會の專制的決議反對
三、學友會職務整理へ學生代表の參加
四、學部支部を單位とする主自的全學的の學友會建設
五、緒方君の處罰の即時撤廢
六、惡取締令の即時撤廢
七、大森助教授の復職要求
八、マルクス經濟學講座設置
九、學內言論、集會、研究、組織、宣傳の自由確立

一〇、教授會評議員會へ學生代表參加

（以上の要求中六、七、八、九、一〇の如きは全く共産主義思想の表現に非ずして何ぞ）。

尚過般の大檢擧には東大以外の各大學よりも又甚だしきは女子大學、高等女學校等よりも被檢擧者を出したることである。

吾人は世界的大革命を企圖せる猶太人の魔手が斯く迄、蔓延してゐるかと想倒するとき皇國將來の爲の深憂せざるを得ないのである。

冀くば大和民族たるもの此の國家非常の秋に當り宜しく熟慮三省して以て祖國防衛に萬遺算なきを期せられんことを切望してこの稿を擱く。

非賣品

昭和三年五月二十日印刷
昭和三年五月廿五日發行

不許複製

東京市芝區芝公園十四號地
著作兼發行者　奥洲堂

東京市神田區猿樂町二ノ一
印刷人　村山鐘次郎

東京市神田區猿樂町二ノ一
印刷所　鐘山堂

東京市芝區芝公園十四號地
發行所　立正愛國社出版部
電話芝三四四番